

# 平成28年度 校内研究

山梨市立笛川中学校

## 1. 学校課題

本校は山間部に位置するため豊かな自然に恵まれており、素朴で素直な生徒が多い。広範囲の学区によるスクールバスでの通学などといった活動時間の制約の中で、学習活動をはじめ、学校行事や生徒会活動、部活動などに対して意欲的に取り組んでいる。また、家庭や地域社会とのつながりも密接で、生徒指導上の問題も少なく、望ましい教育環境である。しかし、その一方で、学級や学年・学校といった集団の一員として、積極的に集団の向上のために働きかけ、努力する点についてやや物足りない部分もある。また、指示やアドバイスを素直に受け入れ、生活を向上させていく柔軟性はあるが、主体的に自らの課題を発見しそれを粘り強く追究したり、自分の考えを発表し、表現したりすることが苦手な生徒が多い。

過去の研究の中でもこの課題についての取り組みは重ねられており、一定の成果が上がってきている。しかし、生徒は一人一人違った個性をもっており、それらを伸ばし、主体的に学習に取り組みせ、さらなる「学力向上」に資するためにも指導内容や方法も状況に応じて工夫する必要がある。

## 2. 研究主題

### 主体的に学習に取り組む生徒の育成

～ 効果的な学びの過程の実現を目指して ～

## 3. 主題設定の理由

平成26年11月、中央教育審議会に対し、文部科学大臣が「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」を発した。この諮問に対して、平成27年8月に、教育課程企画特別部会において答申（案）が『論点整理』として出された。それによると、次期学習指導要領の視点は、子供たちが「何を知っているか」だけではなく、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということである。つまり、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力や人間性など情意・態度等に関するもののすべてを、いかに総合的に育てていくか、ということである。急速な少子高齢化、グローバル化そして情報化など、将来の変化を予測することが困難な時代を前に子供たちには、ただ単に知識の蓄積に終始せず、学んだ知識を駆使し答えを協働し導きだしていく力が必要とされているのではないだろうか。

我々の普段の授業においても、講義型授業に偏重せず、指導・発信型の授業スタイルを工夫することで子供たちの理解を深め、将来必要とされる力が身に付くと考える。このような観点から、授業において効果的な学びの過程の実現を目指し、習得・活用・探究という学習プロセスを重視することで主体的に学習に取り組む生徒を育成できると考え本主題を設定した。本年度の研究は、今までの研究の成果と課題を踏まえ、各教科において生徒の学習がアクティブになる効果的な授業の設計と実践を通して、主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指し、進めていきたい。

#### 4. 研究の内容と具体的方法

##### (1) 具体的内容

- 効果的な学びの過程を重視した学習活動
  - ①アクティブ・ラーニングを意識した継続的な授業実践
  - ②理論研究・実践・検証
- 言語活動の充実
  - ①N I E の効果的な実践
  - ②日常的な取り組みの共有
- 望ましい学習集団づくり
  - ①Q - U の分析と結果を活用した取組
  - ②保護者や地域との連携

##### (2) 研究の方法

- ①講師を招いての学習会
- ②授業研究会（2回）
- ③一人一実践授業の提供

#### 5. 研究計画

### H 2 8 年度 年間校内研修計画

研究主任 三枝 洋介

| 研究内容                    | 教科領域等 | 時期        | T・C要請 |
|-------------------------|-------|-----------|-------|
| 本年度の研究の方向性について          | 全体    | 4月 5日（火）  |       |
| 「研究主題」等について             | 全体    | 4月13日（水）  |       |
| 「研究主題」等の決定              | 全体    | 5月 2日（月）  |       |
| 理論研究（アクティブ・ラーニング、N I E） | 全体    | 5月25日（水）  | ○     |
| 第1回QUアンケート結果分析          | 学年    | 6月22日（水）  |       |
| 理論研究（アクティブ・ラーニング、N I E） | 学年    | 6月29日（水）  | ○     |
| 教科部会による指導案検討            | 教科    | 7月 6日（水）  |       |
| 教育課程説明会の還流報告            | 教科    | 9月14日（水）  |       |
| 指導案検討                   | 全体    | 10月12日（水） |       |
| 教科部会による指導案検討            | 教科    | 10月26日（水） |       |
| 研究授業・授業研究会①             | 担当学年  | 11月 2日（水） | ○     |
| 第2回QUアンケート結果分析          | 学年    | 11月 9日（水） |       |
| 指導案検討                   | 全体    | 12月 7日（水） |       |
| 研究授業・授業研究会②             | 担当学年  | 1月25日（水）  | ○     |
| 研究紀要の作成について             | 全体    | 2月 1日（水）  |       |
| ・各自の実践報告<br>・今年度の研究のまとめ | 全体    | 2月22日（水）  |       |
| 次年度の研究について              | 全体    | 3月 1日（水）  |       |